

# 千葉市水道事業中長期経営計画の 進捗状況について



令和6年度第1回

千葉市水道事業運営協議会

令和7年3月12日（水）

千葉市水道局

# 千葉市水道事業中長期経営計画の進捗状況について

3つの基本方針（災害に強い「強靱」な水道、安定した「持続」可能な水道、「安全」で安心して利用できる水道）に則り、令和5年度は基本施策を計画的に実行した。（計画期間：令和3～12年度）

## <収支計画>

項目		令和5年度の結果			
経営	企業債残高	計画 14,669 百万円	→ 実績 14,003 百万円	削減 666 百万円	
	一般会計繰入金	計画 1,658 百万円	→ 実績 1,595 百万円	削減 63 百万円	

## <主な基本施策>

基本方針	実現方策の内容	実現方策の内容	実績
強靱	管路の耐震化	更新基準年数や、優先度を考慮した管路の更新に合わせ耐震化を図ります。	R5耐震化率43.9% (P2) 上下水道耐震化計画策定（資料3）
	自家発電設備の能力強化	浄水場等への自家発電設備の整備や停電を考慮した燃料タンク容量の増量等の整備を推進します。	平川工事：R4実施 大木戸設計：R6実施（P3）
	災害時などの対応力強化	災害が発生した場合に備え、関係機関などとの協力体制を確立し、迅速な応急復旧による対応力の強化に努めます。	県や市建設局と訓練等を実施
持続	浄水場等の設備更新	更新基準年数や更新の優先順位に基づき、平川浄水場、大木戸浄水場及び大野台送水ポンプ場などの設備を更新します。	平川工事、大木戸設計を実施（P3）
	統合や広域連携強化	千葉県に対して、県営水道と市営水道の統合を求めています。	県市連携推進会議で広域連携の取組検討を合意（資料4）
	水道施設の統廃合	施設の適正規模へのダウンサイジングや統廃合について検討していきます。	広域連携の取組検討の中で土気浄水場の廃止検討（資料4）
安全	「水安全計画」に基づく水質監視	「水安全計画」に基づき水質監視の実施に努めます。	水質検査計画を作成 水質は基準以内
	未普及地域の配水管整備	給水要望に応じて配水管などの整備を実施します。	更科町の配水管整備（P4）
	指定事業者への指導・助言	講習会等を活用した指導・助言を行います。	継続実施

# 管路の耐震化

## 管路の耐震化

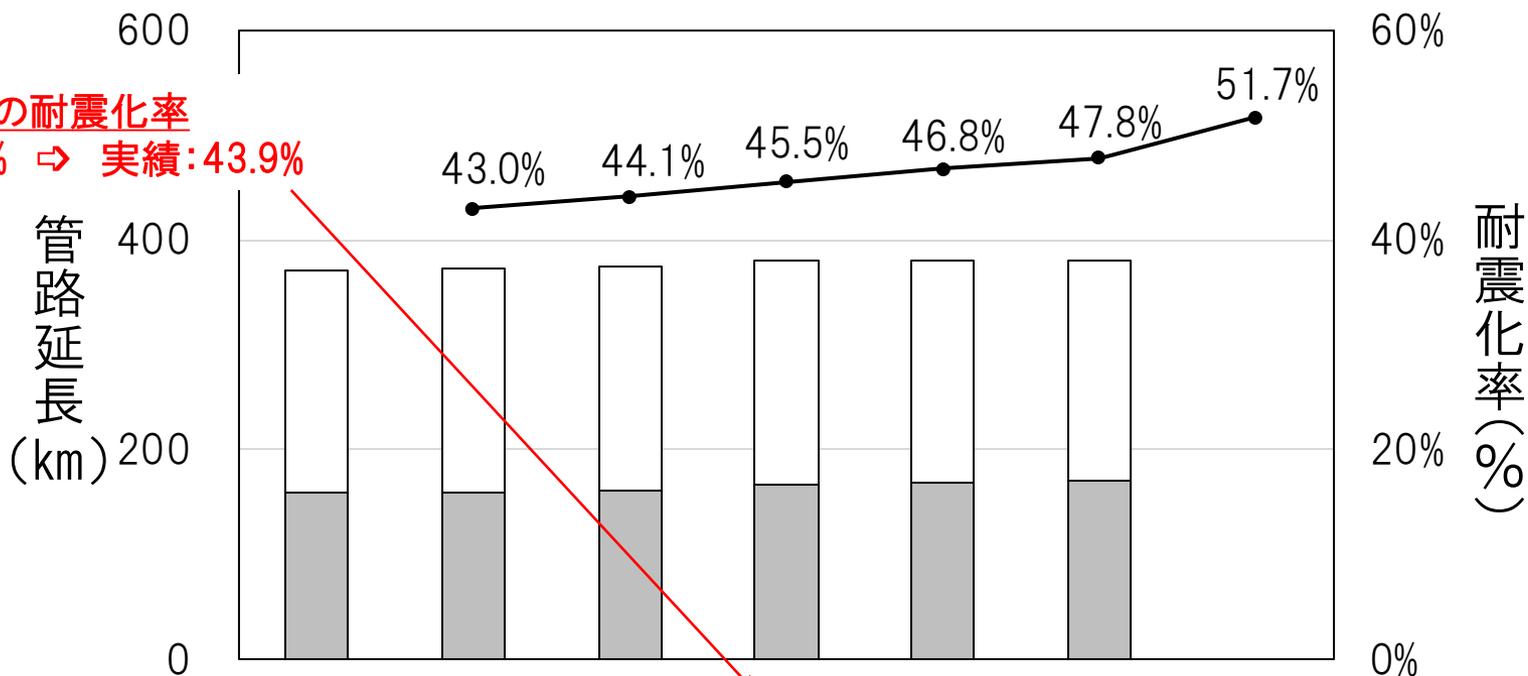
計画目標：令和12年度末

・52% (197km/381km) (令和元年度末43% (158km/371km))

( 整備内訳 ・「強靱」 33km (更新29km、新設4km)  
 ・「安全」 6km (新設) )

中長期経営計画(R7改定)において、上下水道耐震化計画の指標を考慮し、計画目標を見直す予定(資料3)

令和5年度の耐震化率  
 計画:45.5% ⇨ 実績:43.9%



年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12
耐震化率(中長期経営計画)		43.0%	44.1%	45.5%	46.8%	47.8%	51.7%
耐震化率		42.7%	43.0%	43.9%	44.4%	44.6%	
耐震済	158.5	159.1	160.8	166.9	169.1	169.6	
未耐震	213.2	213.2	213.2	212.8	211.5	211.0	
全体延長	371.7	372.2	374.0	379.7	380.6	380.6	

※R6、R7は見込み

## 設備の更新・改良

計画目標：令和12年度末

- 浄水場等 4か所  
(平川浄水場、大木戸浄水場、大野台送水ポンプ場、計量施設)

- 令和5、6年度（2カ年）  
老朽化したポンプ盤等の更新（平川浄水場）  
機械・電気設備更新外実施設計業務委託（大木戸浄水場）

令和5年度までの更新施設数

計画：1施設(平川) ⇨ 実績：1施設(平川)

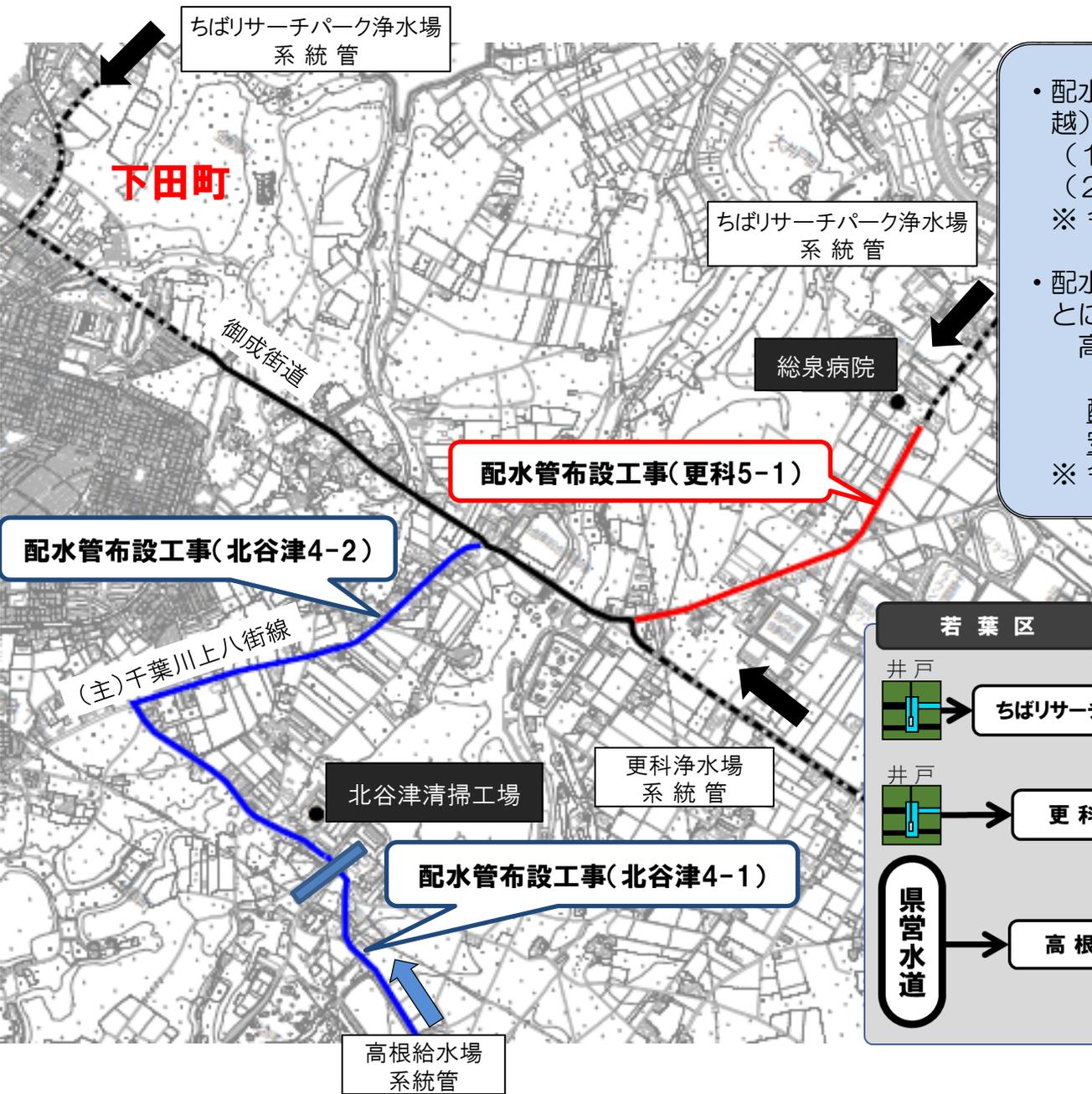
before



after



# 未普及地域の配水管整備



- 配水管布設工事（北谷津4-1及び4-2繰越）を行うことにより
  - (1) 北谷津清掃工場への給水を行う
  - (2) 下田町の給水圧不足の解消を行う
 ※ 令和6年度～ 供用開始
- 配水管布設工事（更科5-1繰越）を行うことにより
 

高根給水場 → 更科浄水場、ちばりサーチパーク浄水場 系統配水（バックアップ）が可能となり、安全・安心な水道供給に貢献する

 ※ 令和7年度～ 供用開始（予定）

